

単元名 現代の日本と世界

配当時間 14時間

- 単元の目標 (1) 現代の日本の大きな流れについて、世界の歴史を背景に、時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 現代の日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などについて、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けることができる。
- (3) 現代の日本に関わる諸事象について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする。

標準的な展開例

12220102_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 写真から日本の社会の変化を読み取ったり、現代の日本と世界の動きを大観したりして、単元の学習問題をつかみ学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戦争中や敗戦直後、現在の写真を見比べて、日本の社会の変化を読み取り、気付いたことを発表し合う。 <p>★「現代」とはどのような時代なのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地図や年表から、第二次世界大戦後の日本を取り巻く国際環境を大観する。 <ul style="list-style-type: none"> ・P. 222～P. 223の地図と見比べると、欧米諸国の領土となっていたところが独立している。また、日本では、日本国憲法が1946年に公布されている。 ○単元の学習問題をつかむ。 ●「現代」の日本には、どのような特色があるのだろう。 ○第二次世界大戦後の日本と世界の動きについての概略を知り、学習計画を立てる。 <p>2 占領と改革の始まりについて調べる。</p> <p>★ポツダム宣言の受諾と敗戦は、日本に何をもたらしたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の占領政策について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・マッカーサー ・民主化 ・連合国軍総司令部（GHQ） ・極東国際軍事裁判（東京裁判） ○縮小した日本の領土とアジアの解放について調べる。 ○海外にいた人々の苦難について調べる。 ○敗戦の影響を、国内と国外に分けて説明する。 ○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。 ■敗戦によって日本の社会はどのように変化し、どのように国際社会へ復帰したのだろう。 <p>3 日本国憲法と戦後の改革について調べる。</p> <p>★日本国憲法は、どのような経緯で成立し、どのような未来を目指していたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本国憲法の特色をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・1946年11月3日公布 ・1947年5月3日施行 <p>・国民</p> <ul style="list-style-type: none"> 主権 ・基本的人権の尊重 ・平和主義 <ul style="list-style-type: none"> ○民主化の進展について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法 ・財閥解体 ・労働組合法 ・労働基準法 ・農地改革 ○GHQによる改革や日本国憲法は、どのような国を目指したかを説明する。 <p>4 敗戦直後の社会と文化について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京の焼け跡から人々の苦しい生活について予想する。 <p>★苦しい生活のなかで、人々はどうな思いで、どのような行動をとったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戦争が終わっても苦しい生活を送った理由について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教P. 260～P. 263 ・「戦中と戦後の子どもたち」「『国立競技場』の歴史」「自然災害からの復興」の三つの視点から、時代の変化を読み取らせるとともに、その時代の人々の願いや努力を考えられるように支援する。 ・教P. 262～P. 263の資料を用い、第二次世界大戦後の世界と日本の様子を大観させたり、現代の日本と世界の動きを時系列で捉えさせたりする。 【評】現代の日本と世界について、これまでの時代との違いを調べたり、考えたりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・単元を通して、政治、社会、文化、外交の面で、これまでの時代との違いを考えるようにさせる。 ・冷戦構造の中で日本が存在していたことを押さえる。 ・教P. 264～P. 265 ・戦争の被害と、占領下におかれたことに着目して追究させる。（つながり） ・占領政策により、GHQは日本をどのような国にしたかについて、非軍事化と民主化の視点からつかめるようにさせる。 ・教P. 249や教P. 262～P. 263の世界地図などから、変化を地図上で確認させる。 ・本時で学習した占領政策を戦前の政策と比べることにより、GHQのねらいについて考えさせる。 ・教P. 266～P. 267 ・大日本帝国憲法や敗戦前の社会との違いに着目して追究させる。（比較） ・大日本帝国憲法と比較して分かる日本国憲法の特色を言語化できるように支援する。 ・民法の改正なども含めて、民主化が進められた経緯を押さえる。 ・民主的で平和な国を目指したことに気付かせられるように支援する。 ・教P. 268～P. 269 ・教P. 268の映像資料を用い、空襲による被害の大きさに気付かせ、そこで生活する人々の苦難について考えさせる。 ・敗戦による社会への様々な影響に着目して追究させる。（つながり） ・敗戦による経済的な影響について、戦争で失ったものや海外に住む日本人の引き揚げがもたらしたことを意識させて、多様な考えを引き出すようにする。

- 生活や権利を守る動きについて調べる。
- 敗戦から復興に向けての動きから、人々の思いについて考える。
- 5 第二次世界大戦後の世界について調べる。
 - ★冷戦は、世界にどのような影響をあたえたのだろうか。
 - 国際連合の成立と脱植民地化について調べる。
 - ・国際連合（国連） ・常任理事国
 - 冷戦の始まりについて理解する。
 - ・直接戦争はしないものの、両者が激しく対立する状態が「冷たい戦争（冷戦）」と言われる。
 - ・政治、経済、社会体制に対する理想の違いから、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営が対立した。
 - 冷戦の影響を受けた東アジアについて調べる。
 - ・中華人民共和国 ・大韓民国（韓国）
 - ・朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）
 - ・朝鮮戦争
- 6 国際社会への復帰と55年体制について調べる。
 - ★日本の国際社会復帰には、どのような背景があったのだろうか。
 - 占領政策の転換について調べる。
 - ・朝鮮特需 ・自衛隊
 - 日本の自主権回復について調べる。
 - ・サンフランシスコ平和条約
 - ・日米安全保障条約（日米安保条約）
 - ・日ソ共同宣言 ・国際連合加盟
 - 55年体制と安保闘争について調べる。
 - 日本がどのようにして独立を回復したのか、冷戦との関わりで説明する。
 - ・冷戦の影響で、占領政策が転換された。そして、朝鮮戦争を契機に、アメリカは日本を独立させ、西側諸国の一員とすることを望んだため、日本はサンフランシスコ平和条約を結び、独立を回復した。
 - 学習を振り返り、小単元のまとめをする。
- 7 東西対立と緊張緩和について調べる。
 - ★冷戦による緊張関係は、どのように推移していったのだろうか。
 - 核兵器開発と冷戦下の緊張について調べる。
 - アジアとアフリカの動きについて調べる。
 - ・アジア・アフリカ会議 ・南北問題
 - 冷戦による東西対立から、緊張緩和と多極化へ向かった理由を調べたり、説明したりする。
 - ・ヨーロッパ共同体（EC）
 - ・アフリカ統一機構（OAU）
 - ・東南アジア諸国連合（ASEAN）
 - 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
 - 冷戦体制下でなぜ日本は経済大国化したのだろうか。
- 8 冷戦下のアジアと日本について調べる。
 - ★冷戦下のアジアと日本との関係は、どのように変化していったのだろうか。
 - ベトナム戦争について調べる。

- ・運動を起こした人々は何を求め、戦時中はどうのような立場や権利があったかについて調べ変化について捉えさせる。
- ・苦難の面だけでなく、復興を力づけた面にも注目させる。
- ・人々の動きや思いについて、戦時中から戦後改革までの変化から考えさせる。
- ・教P. 270～P. 271
- ・資本主義陣営と社会主義陣営が対立を深めていく過程に着目して追究させる。（推移）
- ・教P. 270の資料を用い、国際連合憲章には、「平和」という言葉が多く出てきていることに着目させる。
- ・アメリカとソ連の違いを歴史的背景から探ることで、資本主義と社会主義につなげる。
- ・教P. 271の地図を用い、北大西洋条約機構（NATO）加盟国やワルシャワ条約機構加盟国を捉えさせる。
- 【評】冷戦の意味やアメリカとソ連の対立の理由について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・教P. 272～P. 273
- ・冷戦が占領政策や調和の在り方に与えた影響に着目して追究させる。（つながり）
- ・占領政策の転換について、冷戦が大きな影響を与えたことに気付かせる。
- ・教P. 272の資料を用い、日本が朝鮮戦争をきっかけに、好景気に向かったことをつかませる。
- ・二つの条約が冷戦の影響を強く受けて成立していることに気付かせるとともに、独立から国際連合加盟まで時間がかかった理由としてソ連との国交回復が影響していることをつかませる。
- ・現在も国内でアメリカ軍基地が残っていることを押さえる。
- ・教P. 273を用い、55年体制や新安保条約、安保闘争について押さえる。
- 【評】日本の国際社会への復帰を冷戦に結び付けて考えたり、説明したりする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 274～P. 275
- ・米ソの二大国と、他の国との関係に着目して追究させる。（つながり）
- ・教P. 274の資料を用い、冷戦の構図を確認するとともに、核兵器の広がりをつかませ、核兵器の広がりが及ぼす影響について考えさせる。
- ・日本では第五福竜丸事件などから、日本では原子爆禁止運動が盛んになったが、東西陣営では核開発が進んだことを捉えさせ、核兵器に対する考えの違いに気付くようにさせる。
- ・平和五原則と1960年のアフリカ地域の独立を取り扱う。
- ・アメリカとソ連の二大国と新興国の関係に注目させて、新興国の台頭が世界に与えた影響について考えさせる。
- ・教P. 262の年表などを用い、冷戦体制下で日本は高度経済成長期となり、経済大国化することを捉えさせる。
- ・教P. 276～P. 277
- ・東西対立の中での、アメリカと日本との関係に着目して追究させる。（つながり）
- ・ベトナム戦争が冷戦の構図の中で始まったことを捉えさせる。

- 復帰運動の高まりと沖縄返還について調べる。
- 日本がアジア諸国との関係を、どのように改善していったのかについて考えたり、説明したりする。
 - ・ ベトナム戦争の関係でアメリカは日本にアジア諸国との国交正常化を求めた。そして、西側の韓国とは国交正常化した。また、ベトナム戦争の影響でアメリカが中国との関係改善に動く中で、日本は中国と国交正常化を果たした。
- 9 高度経済成長について調べる。
 - ★ 高度経済成長を通じて、人々のくらしはどのように変わっていったのだろうか。
 - 経済の高度成長について調べる。
 - ・ 高度経済成長
 - 国民生活の変化や高度成長のひずみについて調べる。
 - ・ オリンピック・パラリンピック東京大会
 - ・ 公害問題 ・ 公害対策基本法
 - 高度経済成長がもたらしたものを、光と影の部分に分けて調べたり、まとめたりする。
 - ・ 家庭電化製品が普及したり、高校や大学への進学率が上がったなど、国民生活が便利で豊かになった。その一方で、大都市の過密や農村の過疎、自然や生活環境の悪化によって起こる公害など、様々な社会問題も発生した。
- 10 経済大国となった日本について調べる。
 - ★ 経済大国となった日本は、世界にどのような影響をあたえるようになったのだろうか。
 - 石油危機以降の日本の貿易の変化について調べる。
 - ・ 石油危機 ・ バブル経済
 - マスメディアの発達と大衆文化について調べる。
 - 経済大国になった日本が世界に与えている影響について経済面と文化面から考えたり、まとめたりする。
 - ・ 経済面では、自動車産業やコンピュータ産業を中心に世界に影響を与えている。また、日本企業のアジア進出により、アジアの経済に大きな影響を与えている。
 - ・ 文化面では、日本の漫画やアニメーションが世界中にファンを獲得するようになった。日本文化に興味をもつ外国人が増加するなど、世界中に大きな影響を与えている。
 - 学習を振り返り、小単元のまとめをする。
- 11 冷戦の終わりとグローバル化について調べる。
 - ★ 冷戦の終結とグローバル化のもとで、世界にどのような変化が生じ、どのような問題をかかえることになったのだろうか。
 - 冷戦の終結について調べる。
 - グローバル化について調べる。
 - 冷戦終結後の紛争と協調について調べる。
 - ・ 主要国首脳会議（サミット）
 - ・ ヨーロッパ連合（EU）
 - 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
- 12 これからの日本が解決を求められる課題とは何だろう。
 - グローバル化の中の日本について調べる。
 - ★ グローバル化が進んだ平成時代に、日本はどのような問題に直面していたのだろうか。
 - 平成時代の政治、経済、社会の動きについて調べる。
 - グローバル化が日本に与えた影響について調べる。
 - 二つの震災について調べる。
- ・ 現在でも基地問題があることを新聞記事などを利用して気付かせ、その問題点を意欲的に調べようとする姿勢を支援する。
- ・ 韓国、北朝鮮、中国との関係改善について、冷戦におけるアメリカの影響が背景にあることに気付かせる。
- 【評】日本とアジア諸国との関係の変化について、アメリカの影響を踏まえて考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・ 教P. 278～P. 279
- ・ 高度経済成長期よりも前と後の生活に着目して追究させる。（比較）
- ・ 教P. 278の資料を用い、国民総生産と1世帯当たりの収入や高度経済成長期のくらしの変化を捉えさせる。
- ・ 政府の政策や重化学工業の発達、国際競争力の高まりなどが背景にあったことを理解させる。
- ・ 四大公害訴訟については、地理での学習を想起させる。また、公害対策基本法や環境庁の発足など、公害防止への対策が強化されたことを押さえる。
- ・ 教P. 279の資料を用い、高度経済成長による国民生活の変化を捉えさせる。
- 【評】高度経済成長による国民生活の変化について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・ 教P. 282～P. 285
- ・ 日本と諸外国の関係に着目して追究させる。（つながり）
- ・ 石油危機、バブル経済崩壊を経て、社会システムの見直しを求められたことを押さえる。
- ・ 教P. 282～P. 283の資料を用い、日米貿易摩擦について捉えさせたり、日本の貿易相手の変化を読み取らせたりする。
- ・ 教P. 284～P. 285の資料を用い、マスメディアが大衆文化に大きな影響を与えたことを理解させる。
- 【評】経済大国になった日本が世界に与えている影響について考えたり、表現したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・ 教P. 286～P. 287
- ・ 米ソという二大国の対立が無くなった影響に着目して追究させる。（つながり）
- ・ 冷戦終結後から現代にかけて、国境を越えた活動が活発化し、世界が一体化したことを理解させる。
- ・ 冷戦の終結によって、アメリカとソ連の両陣営の抑止力が無くなったことや、国家の独立に民族問題が大きく関係していることを関連付けて捉えさせる。
- ・ 教P. 262の年表などを用い、グローバル化した平成時代に、日本が直面する課題に目を向けさせる。
- ・ 教P. 288～P. 289
- ・ グローバル化が日本にどのような影響を与えたのかに着目して追究させる。（つながり）
- ・ 教科書を参考にして、項目ごとにまとめさせる。政治の体制等、理解が難しいと考えられる内容には補足説明をする。
- ・ 教P. 288の資料を用い、非正規雇用者が増加していることに気付かせる。

- ・阪神・淡路大震災 ・東日本大震災
- 平成時代の日本の政治，経済，社会の様子について，当時の時代背景と関連付けてまとめる。
 - ・バブル経済が崩壊し，長期の不況に入ったことや，グローバル化が進んだことなどの理由から，これまでのやり方では激しい競争や変化に対応できなくなった。政治では，冷戦下にできた55年体制が終わった。
- 13 これからの世界と日本の課題について調べる。
 - ★これからの世界に日本が貢献すべきことや，日本がかかえる課題について考えよう。
 - 世界の中の日本の課題について調べる。
 - 解決を迫られる国内課題について調べる。
 - 国際社会が抱える問題の解決のために，私たちは何ができるか，日本には何ができるかを話し合う。
 - ・私たちにできることは，歴史をしっかりと学び，正しい歴史認識を身に付けることだと思う。
 - ・日本ができることは，環境問題に対する豊富な知識と経験を，世界中に広げることだと思う。
 - 学習を振り返り，小単元のまとめをする。
- 14 学習を振り返り，単元の学習のまとめをする。
 - ★単元の学習問題について，自分の考えをまとめよう。
 - 学習してきたことを年表や地図にまとめる。
 - 「復興と成長の源」に着目し，現代の特色をまとめる。
 - 単元の学習問題について話し合ったり，自分の考えをまとめたりする。
 - ・政府は，戦後復興期にはGHQの指導による民主化政策を進め，高度経済成長期には経済成長を促進する政策に取り組んだ。
 - ・現代の社会では，偏見や差別が問題となり，法律が整備され，弱者の支援を進めることとなった。
 - 「『歴史との対話』を未来に活かす」の学習の見通しをもつ。

- ・いつ，どこで，どんな被害があったかをまとめさせる。
- 【評】平成時代の日本の政治，経済，社会の様子について調べたり，当時の時代背景と関連付けてまとめたりする活動を通して，「知識・技能」を評価する。
- ・教P. 290～P. 291
- ・国際社会と私たちの身近な問題が，どのように結び付いているかに着目して追究させる。（つながり）
- ・平和に関する活動，環境に関する活動などを中心に取り扱う。
- ・全ての人々の人権を尊重することや，偏見や差別を根絶することの重要性を考えさせる。
- ・歴史を学ぶことの意義や重要性に気付かせ，未来を切り拓こうとする意識を育みたい。
- 【評】国際社会が抱える問題の解決に向けてどのようなことができるか考えたり，表現したりする活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 296～P. 297
- ・教P. 296の年表と地図を用い，現代の世界と日本の動きを時系列で捉えたり，歴史の主な出来事がどこで起こったのかを確認したりさせる。
- ・教P. 297の表を用い，現代の特色について，様々な時期や立場，視点からまとめさせる。
- 【評】これまでの学習を踏まえ，現代の特色について話し合ったり，自分の考えをまとめたりする活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】